

防災あいずみ

平成26年1月15日発行 第3号

発行元：藍住町総務課危機管理室

電話637-3111

防災ラジオ受信テストのお知らせ

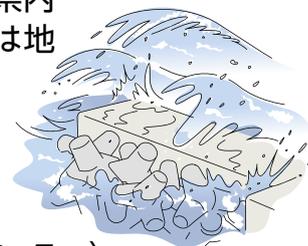
3月1日から販売を予定している防災ラジオについて、受信テスト用ラジオの貸出しを行います。自宅の受信状況を確認したい方は次により受信テストの申込みをしてください。

- 1 テストの実施期間 平成26年2月3日(月)～2月21日(金)
- 2 申込み窓口 総務課(午前9時～午後5時)
- 3 申込みに必要なもの 印鑑、身分証明書(運転免許証、健康保険証、その他公的機関が発行した身分証明書)
- 4 テストの実施方法 町が防災無線で放送しているチャイム音を聞き、受信状況を確認してください。
- 5 その他 テスト用の防災ラジオの貸出し期間は概ね3日間となります。



津波防災・減災リレーセミナー in 藍住町開催！

このセミナーは南海トラフ巨大地震による津波被害が予想されている県内の10市町が徳島県と共催し、それぞれの市町で開催しています。本町では地震や津波に関する講演や、宮城県石巻市の防災関係者による基調講演を行いますので、この機会にぜひ御参加ください。



- とき 平成26年2月2日(日) 午後1時から(開場は正午)
- ところ 藍住町合同庁舎 4階 町民シアター
- 内容 1 南海トラフ巨大地震の備えについて(徳島県防災人材育成センター)
2 住宅の耐震化について(徳島県住宅課建築指導室)
3 基調講演(宮城県石巻市危機対策課 課長 二上 洋介氏)
- その他 地震体験車や耐震シェルターの展示、石巻市特産品の販売を予定しています。入場は先着250名です。(事前の申込みは行っていません。)

自主防災組織に交付金を支給します！

町では、今年から藍住町自主防災組織等活性化交付金制度を創設し、下記の自主防災組織に対し、交付金を支給します。地域で自主防災組織について改めて話し合い、自主防災組織の活性化をしましょう。

- 1 対象 平成26年1月1日現在、町に自主防災組織等として届出している団体
- 2 支給額 10万円
- 3 申請期間 平成26年2月3日～平成26年3月31日まで

※詳しい内容や必要な書類については、総務課危機管理室または町ホームページで御確認ください。

防災意識調査結果のお知らせ

昨年8月末に実施した防災意識調査の結果概要をお知らせします。

この調査は町内に住所を有する20歳以上の方、2千人を対象に実施しました。

回答は742人の方からいただき、回答率は37.1%でした。

主な質問と回答結果は次のとおりです。



あなたは防災について関心がありますか。

この質問は防災に対する関心度を調査しました。

調査結果では「関心がある」と回答した方が最も多く、全体の49.1%を占めました。次いで「どちらかと言えば関心がある」と回答した方が38.8%でした。

関心度の比較では「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と回答した方の合計が87.9%、また「関心がない」「どちらかと言えば関心がない」と回答した方の合計が10.0%でした。

(SA)

	回答数	回答率
関心がある	364	49.1%
どちらかと言えば関心がある	288	38.8%
どちらかと言えば関心がない	59	8.0%
関心がない	15	2.0%
わからない	12	1.6%
無効・無回答	4	0.5%
合計	742	100.0%

87.9%の方が
防災に関心を
持っています!



あなたは防災対策に取り組んでいますか。

この質問は防災に対する取組状況を調査しました。

調査結果では「取り組んでいる」と回答した方が全体の42.2%、一方「取り組んでいない」と回答した方は55.9%(415人)でした。

比較では「取り組んでいない」と回答した方が「取り組んでいる」と回答した方を13.7ポイント上回る結果となっています。

(SA)

	回答数	回答率
取り組んでいる	313	42.2%
取り組んでいない	415	55.9%
無効・無回答	14	1.9%
合計	742	100.0%

防災対策に
取り組んでいる方は
半数以下の
42.2%です!



あなたは自主防災組織とは何であるかを知っていますか。

この質問は自主防災組織の周知度を調査しました。

調査結果では「知っている」と回答した方が全体の28.2%、一方「知らない」と回答した方が69.1%でした。

比較では「知らない」と回答した方が「知っている」と回答した者方を40.9ポイント上回る結果となっています。

(SA)

	回答数	回答率
知っている	209	28.2%
知らない	513	69.1%
無効・無回答	20	2.7%
合計	742	100.0%

「自主防災組織」を知っている方は
わずか28.2%です!



藍住町に望む防災対策

この質問は藍住町に望む防災対策について調査しました。

回答者は該当する防災対策を2つまで回答しました。

調査結果では「資器材や飲料水・食料などの備蓄の推進」と回答した者が方も多く、420人でした。次いで、「防災情報の定期的な提供」と回答した方が360人でした。一方、最も少なかったのは「自主防災組織への支援」で46人でした。

(MA)

	回答数
防災情報の定期的な提供	360
資器材や飲料水・食料などの備蓄の推進	420
木造住宅耐震化支援制度(診断・改修・リフォーム助成制度)の充実	112
防災ラジオの販売(室内で防災行政無線放送を聞くことができるラジオ)	113
家具転倒防止に関する補助金の充実	93
自主防災組織への支援	46
防災リーダーの育成支援	63
防災訓練の実施	78
防災に関する研修会や講習会の充実	100
その他	14
合計	1,399

資器材や食料の
備蓄を
望んでいます!



詳しい調査結果は藍住町ホームページを御覧ください。

耐震改修工事によくある質問

住民の皆さんからよくお問い合わせのある耐震改修工事について御説明します。

●耐震改修工事とは

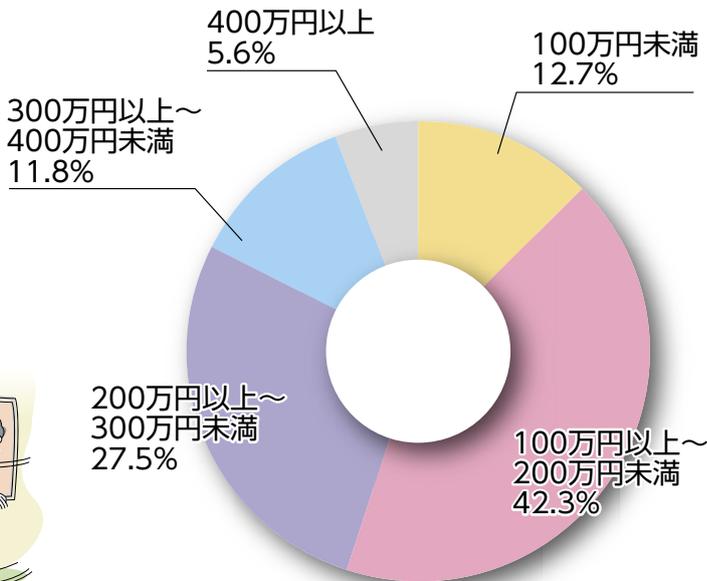
地震が起きても建物が倒れにくくなるよう基礎や壁の補強、劣化箇所の取り替えなどを行う工事です。町では、耐震診断の結果、「倒壊する可能性が高い(評点0.7未満)」と診断された木造住宅を「一応倒壊しない(評点1.0以上)」とする耐震改修工事に対し、補助金を交付しています。

※制度については下記参照

●工事費用はいくらかかるの？

耐震改修工事費用は、全国的に見てみると、100～200万円の工事が多く見られます。また、下の計算式からおおよその耐震改修工事費を算出することができます。

(財)日本建築防災協会 木造住宅における耐震改修費用の実態調査業務より)



$$\text{耐震改修工事費 (円)} = 27,000 \times (\text{耐震改修後の目標評点} - \text{耐震改修前の評点}) \times \text{延べ床面積 (m}^2\text{)}$$

※例えば、延べ床面積が100㎡で耐震診断の結果、評点が0.5である木造住宅を耐震改修工事により評点を1.0にする場合、耐震改修工事費の目安は、

$$27,000 \times (1.0 - 0.5) \times 100 = 1,350,000 \text{円}$$
 となります。

※住宅の状態や工事内容により、上記の算出方法による金額とは異なる場合がありますので、御注意ください。

- 藍住町木造住宅耐震改修費補助金交付事業**
 - 耐震改修の対象となる木造住宅
「倒壊する可能性が高い」と診断された住宅
 - 補助金
工事費の2/3(上限額は60万円)
 - 今年度予定改修戸数
15戸(先着順)
 - 申込期限
平成26年1月31日まで
ただし、3月25日までにしゅん工し、完了報告書が提出できる工事に限ります。

木造住宅の耐震化事業について、御不明な点がありましたら、総務課危機管理室までお問い合わせください。

なお、今回掲載した木造住宅耐震化事業には、「住まいの安全・安心なリフォーム支援事業」もあります。この事業内容については、次号にて詳しく掲載する予定です。

